ロッキー通信No.12

「プライオン　思いを力に！」

学校教育目標：「豊かに育つ生徒」
～「挑戦」と「創造」～
校　　訓：「求学・親和・創造」

R7.6.19（木）発行　文責　校長　六山　和弘

西大村中学校「OMURA未来塾」開講

６月１７日（火）、令和７年度西大村中学校「OMURA未来塾」の開講式が開催されました。

「OMURA未来塾」とは･･･
　大村市教育委員会社会教育課が実施主体となっている取組で、『中学校の生徒に対し、放課後において地域住民等が支援員となって個々の課題に応じた学習支援を実施することで、苦手意識の克服や学びの習慣化をめざす。
　また、生徒の学びや育ちを地域で支えることで、「大村の子どもは大村で育てる」という理念の実現を図る』という目的により実施されています。

実施期間：令和7年6月～令和8年3月
実施時間：週2回（火曜日、木曜日）の2時間程度（16:30～18:30）を基本とする
学習内容：英語、数学を中心とした学習支援
学習支援員：地域住民、教員OB、大学生等
参加生徒数：1年生・8名、2年生・13名、3年生・13名
※2年連続、3年連続でお世話になっている生徒もいるようです。

**　開講式では、社会教育課長あいさつ、校長あいさつ、支援員紹介、概要説明並びに注意事項と続き、最後に生徒代表あいさつとして3年生の一瀬 華乃さんが立派にあいさつをしてくれました。その内容を下記に紹介します。**
**　たくさんの生徒が、自主的に参加の意思を表明してくれたことをとても嬉しく思います。式中の、生徒たちの態度やキラキラ輝く瞳がとても印象的でした。**
**　また、たくさんの支援員さんたちもとても素敵な方たちばかりで、生徒たちも安心してお世話になることができると思います。本当に素敵な取組だと思います。**
**　特に今年度は、「自らの学び」を意識させたいと考えている中で、自ら学びに向かおうとする生徒たちの姿をとても頼もしく、誇らしく感じました。**
**　さらには、生徒たちの学力向上を学校だけでなく、地域の方とも力を合わせて目指すことができるこの環境づくりに改めて心から感謝します。ありがとうございます。**
**　生徒の皆さん、皆さんの周りにはこんなにたくさんの味方がいます。**
**　どうぞ、安心して、そして本気で自分磨きに取り組んでくださいね。**
**　一緒にがんばりましょう。**

　私は今年で、「OMURA未来塾」3年目になります。
　丁寧にたくさんのことを教えていただき、集中力も身につきました。
　今年は、進路決定をしなくてはいけません。自分が行きたい高校進学に向けて努力を重ねて行かなければなりません。そのためには、この「OMURA未来塾」での学びを良い機会だと思って、力を付けていきたいと思います。
　一年間、たくさんのご指導をよろしくお願いします。

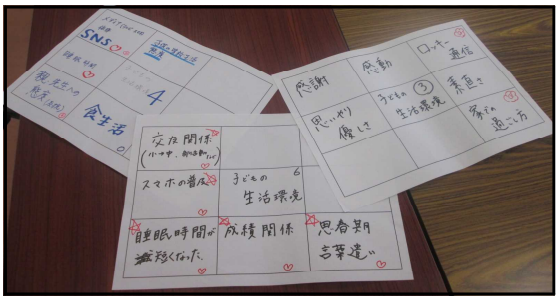
６月１７日（火）の午前中、毎年恒例の「少年センター＆民児協の学校訪問」がありました。
**　少年センター平野指導主事と西大村中学校区担当の民生委員児童委員と主任児童委員の１１名が来校され意見交換を行いました。**
**　その中で、「あいさつが素晴らしい」「運動場から、イチ・イチ・イチ・ニの元気な掛け声が聞こえてきて元気をもらっている」「体育大会が素晴らしくて元気をもらった」「ケーブルテレビで中総体の試合を見たが、頑張っている様子が伝わってきた」などのお褒めの言葉をたくさんいただきました。**
**　困ったときに助けていただける応援団からの言葉を嬉しく思います。感謝します！！**

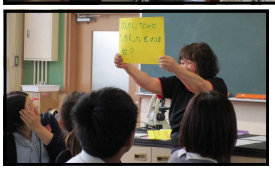
「おとなの学び教室」開講！！

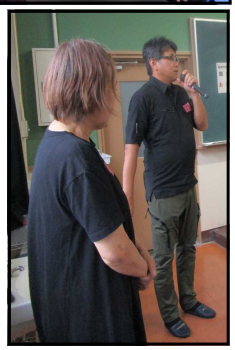
「毎月１５日は、学校へ行こう！」ということで、学校開放日に指定しています。
学校行事などが落ち着いた、６月１６日（月）、その第１弾を実施しました。
「まずは、授業参観を」ということで、昼休み後半の「リフレッシュタイム」⇒「５校時目の授業」⇒「短学活」という流れで参観していただきました。
この日は、蒸し暑い中でしたが７０名弱の保護者の皆様が学校に足を運んでくださいました。
とても嬉しかったです。ありがとうございました。

【授業参観のようす】

『今年から、「自らの学び」を意識して取り組ませたい』との思いから、さまざまな仕掛けを仕組んでいます。日課の変更やリフレッシュタイムもその一つです。
そのような中で考えたのが、自らが育った環境とほとんど違った環境で育つ子どもたちを健全に育成するためには、「大人の学びこそ必須だ！」ということ。
そこで、「おとなの学び教室」を開設しました。今回は、その第１弾。まずは、本校の素敵で頼もしい先生方と語り合ってほしいという思いから、『先生方と語ろう会～ながさきファミリープログラム～』を設定しました。参加者は、地域の方を含めた約２０名弱の保護者の方々と本校職員。５～６名のグループが９つできました。
大村市教育委員会社会教育課職員１名とファリシテータ（会の進行役）２名によってスタートしました。まずは、アイスブレークにより班編成を行い。各班で自己紹介をしながら話しやすい雰囲気をつくっていきます。その後、「子どもの生活環境」というお題で意見交換をしながら、下の写真にあるようなプリントの升目を埋めていきます。この時に、話は盛り上がっていきます。
最後に、各班の内容を開きあって、共感が広がっていきます。下記に、会のようすの写真と感想の一部を紹介します。







【参加者の感想（一部抜粋）】
- 保護者とお話ができ、家での様子や困り感などを教えていただき、今後の参考にしたい。
- 子育ての思いが同じことが多く、前向きに子どもと向き合えるような時間になった。
- 保護者、地域の方々とわきあいあいと話しをすることができて、とてもよかった。
- 学校での子どものようすや家庭でのようすを聞くことができてよかった。
- はじめは何を話せばよいかと思っていましたが、テーマをつくりながら話しやすい場の設定がされていて、和やかに進めることができました。また参加してみたいです。
- 学級や学年を超えて、保護者と意見交換ができて、とてもよかったです。ざっくばらんに語り合う時間をとおして保護者や地域の方々とともに子育てをしていこうという気持ちが高まりました。
- 時間が足りなかったです。
- もう少し一つの内容に対して話し合いたかった。

第２弾は、

７月１５日（火）

「親子
スマホ教室」

子どもと一緒に学びましょう。
詳細は、後日ご案内します。
乞うご期待！！